

AIRHEADS通信

vol.

71

「Airheadsスクール」に潜入した大輔が 学んだものとは？

平素より「Airheads通信」をご愛読いただき誠にありがとうございます。
前回に引き続き、マーケティング部の井上がお届けします。

先日、ぶらぶらと街を歩いていたら、とあるテレビ番組の街頭調査に出くわしました。
何やら「日本人の足と靴の関係」を調べているようで、
白衣を着た専門家らしき人も待機している様子。

これ、「**全然靴が足のサイズと合っていない！**」って言われるパターンだな...
いや、「**足がかawaiiそうですよ！！**」って指摘されるパターンだな...

まあ自覚症状があるぐらいなので、間違いなく指摘を受けると思ったものの、
どうしても好奇心には勝てず、求めに応じて計測してもらうことに。

で、言われたのが“エジプト型”と呼ばれる形に属しているとの指摘でした。

何か、特別な響きじゃないですか！？

ワクワクして理由を聞いてみたところ、呼び名の由来は彫刻にあるとのこと。

ちょ、彫刻とな？

実は、エジプト彫刻に分類されるものの約半数が「親指が2番目の指よりも長い造形」らしく、
その形からエジプト型と呼ばれていると説明を受けました。



しかも、多くの日本人がこのエジプト型に属するようで、特別に珍しいものではないようです。

あ、普通なのね...

その結果に安堵しながらも“特別な、レアなタイプだったらよかった”と考えてしまうのは、私のなかにある“中二病”的な発想がそうさせるのでしょうか。

いつでも特別な存在でいたい、そんな井上がお届けしました。

「Airheadsスクール」に潜入した大輔が学んだものとは？



Arubaが提供する各種ソリューションをハンズオン形式で学べる「Airheadsスクール」に参加した大輔。実際に触ってみることで実感できることが多いようだが、忘れやすい大輔だけに、それが身になっているのかは未知数なところも。今回は「Aruba Switch」をテーマにしたスクールに参加した大輔だが、そこで何が学べたのだろうか？



大輔 (だいすけ)

A市役所のIT推進室から転職して、現在は世界的なお菓子メーカーであるD&W社の情報子会社に転職。ネットワーク統括部のメンバーとしてグローバルなIT基盤の運用管理を担う。実際にはITの知識があまりなく、いつも周囲に頼ってばかりいる。



美咲 (みさき)

大輔と同じくA市役所職員から転職した、もと大輔の部下。大輔が所属する情報子会社の親会社にあたる、グローバル本社のD&W社システム企画部に所属。社会人歴はわずか3年ほどだが、平成生まれのデジタルネイティブ世代として、ITの知識は豊富。



ディーン

D&W社のシステム部門に在籍する留学生・インドネシア人。ネットワークやセキュリティのスペシャリストながら、日本の文化に傾倒、大輔や美咲よりも日本のカルチャーに詳しい。



大輔さん、こんにちは！



あれ、どうしたの、美咲くん。子会社のほうに顔出すなんて珍しい。



そりゃ来年度のインフラ整備に関する予算取りの打ち合わせなど、私だっている忙しいんですから。ちょっと打ち合わせに来たんです。それにしても珍しい。大輔さんがパソコンを前に仕事しているなんて。



美咲くん、僕だってやることあるんだから。ちょっといろいろ勉強していたんだよね。



勉強ですって？そうか、12月の割にはずいぶん暖かい日が続くなんて思っていたんですけど、そういうことか。



どういうこと？



大輔さんが慣れない勉強なんてするもんだから、ちょっと異常気象が...



そんなにレアなこと？結構勉強はしているんだよ、僕だって。この前だってスクールに出てLANスイッチの勉強をしたばかりだし。



あ、この前話をしていた「Airheadsスクール」の件ですね？
どうでしたか、学校の様子は。



やっぱり実機を触るってとっても大事だね。
直接触れるとわかることもあるなって。



それはよかったですね。
で、どんなことをやるんです、「Airheadsスクール」って？



僕が出たのはLANスイッチをテーマにしたハンズオンのセミナーだね。
といっても、8名ほどの規模で、手取り足取り教えてくれたよ。



具体的にどんなことが学べるんです？



Arubaが提供するLANスイッチ「Aruba Switch」に関する製品のポートフォリオやその特長なんかを紹介してもらいつつ、競合との違いなどもポイントを絞って分かりやすく教えてくれたよ。



へー、そうなんですか。
ちなみにAruba Switchの特長ってどんなところにあるんです？



えーとね、もらった資料を見ると...まあ大きく4つほど。有線無線が統合管理できるとか、マルチベンダ環境で利用できるとか、まあ、いろいろ。

Aruba Switchの特長

- ① **Mobile First** アーキテクチャに最適なスイッチ **~有線・無線インテグレーション~**
 - Air Wave/ClearPassとの連携、無線LANコントローラからの管理・制御
 - 有線・無線で統合されたUSER ROLEの適用
 - APとSwitchの連携
- ② **拡張性・安定性**
 - 40GbE、柔軟なStacking 機能
- ③ **スタンダードベースのスイッチ**
 - マルチベンダ環境、相互接続性の確保
 - 独自のテクノロジーを使用する機能は製品内部で閉じている
- ④ **簡単なスイッチのコンフィグ**
 - 追加ライセンス、Firmware は1種類です (Feature の選択が不要)
 - スイッチ本体、電源、モジュール、アクセサリを組み合わせるだけです



先週参加したんですよね、もう忘れちゃったんですか。



そんなに詳しく覚えてないもの。



一緒に参加した人カラ、大輔さんが寝ていたって聞いてマスよ。



ディーン！！突然出てきて変なこと言わないでよ。



全く驚かない自分がいるんですけど。で、何か面白い情報はないんですか？



特長というよりも、そんな情報あったんだ、という驚きが。
3Dカタログって知ってる？

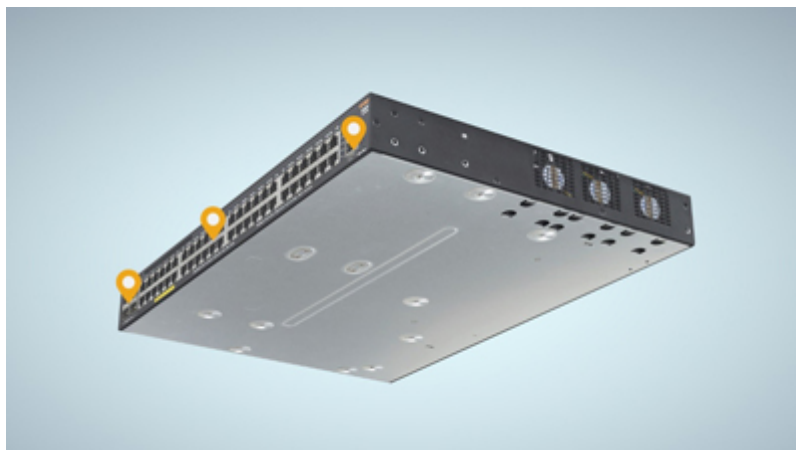


何デスカ、それ？



お、ディーンも知らないのね。Arubaが提供するLANスイッチが3D化されて
Web上から確認できるんだよね。みんな知らないんじゃないかな？

3D化されたスイッチを下からみた図



<https://dqt17hbb9l3l0.cloudfront.net/5185710160084992/index.html>



それってどういうことがうれしいんでしょうね？



ポートの位置や電源周りの配置トカ、実機で確認したいコトって設計をスル立場
から言うとそれなりにあるンデスカよね。



360度いろんな角度から3D化された画像を動かすことができると。
なんか新車を紹介するサイトでそんな機能みたことあるような。



見ているだけでも、それなりに楽しいかなって。



で、実際に触ってみた感じはいかがでした？



そうそう、製品概要の後は、実際にArubaが用意しているラボ環境で、まずはLANスイッチの初期化を行い、その後LANスイッチの初期設定をするハンズオンをやったんだよね。



実際のものは触らないんですか？



そんなことはないよ。目の前にコントローラやLANスイッチ、APなどが机の上に用意されていて、それを直接触っていくわけ。設定ガイドもちゃんと用意されているので、思った以上に分かりやすいね。まあ目の前で順序立てて教えてくれるからさ。



具体的にはどんな手順でやっていくんですか？



僕が参加したときは、「初期化」「初期設定」「LACP、VLANの設定」「IEEE802.1x認証の設定」「Captive Portalの設定」「AirWaveの設定」という6つの手順で、ラボ環境にてLANスイッチを設定していく流れかな。不明点があればその場で質問して、その都度教えてくれるスタイルだよ。



大輔さんの知識でついていけました？



ネットワークの基本的な用語が分かれば、そんなに難しいものじゃなかったね。むしろ具体的に設定することで、LANスイッチに親しむことができた感じだよ！まあ、頻繁に声をかけられたけど...



声をかけられたとイウのは？



急に名前を呼ばれて「大輔さん、大丈夫ですか？進んでないようですけど」って心配されちゃって。



挙動不審だったんだろうなー。



否定はできない...って違うよ！！設定の状況が講師の端末から見えているので、つまずいている人がいるとちゃんとフォローしてくれるんだよ。



そうはいつても、挙動不審だったんでショウね。



ディーンまで...



実は私もLANスイッチの回に参加したことがあるのデスガ、結構いろんな質問が飛び交っていまシタよ。参加者の中には競合製品に詳しい人もイルので、「認証の順番が他社製品だと設定できるけどArubaではどうなのか」「ゼロタッチプロビジョニングを行うためにはどんな環境が必要なのか」「ライフタイム保障されているLANスイッチが販売中止になったときの対応はどうなるの」といったいろんな質問が出ていまシタ。



質問した人はいたけどね、僕はとりあえずLANスイッチの動きが分かっただけでも、とっても役立ったな。やっぱり触って試せるのは大きいね。



同じハンズオンに参加された方との交流ってされました？



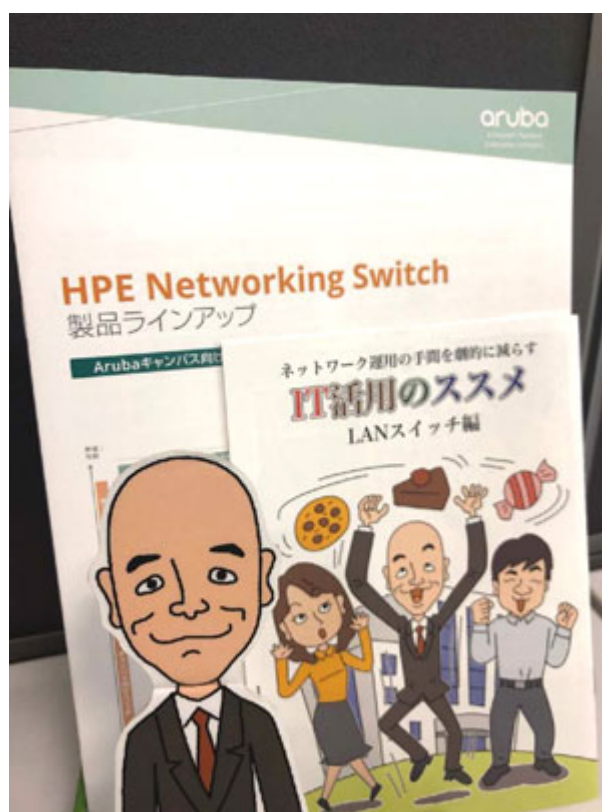
いやー、普段とはうって変わって、そういうときって極度にシャイになっちゃって...名刺交換ぐらいしとけばよかったなあ。あ、でも講師の人とは名刺交換したので、何かあれば直接聞いちゃおうかなって。



よかったじゃないですか。



製品カタログや漫画で学べるLANスイッチの資料など、いろいろ参考になりそうな情報ももらったし。無償なので気楽に参加できるというのがいいね。ぜひほかのテーマの時も参加してみようかな？



確かにラボの環境が用意されていてイルので、クラウド管理が可能なAruba Centralや認証のClearPassなんかも触ってみたいところデス。



APIを利用してネットワーク管理に役立つプログラミングなんかの講座もあるので、ちょっと楽しみだな。



大輔さんにしてはえらく前向きですね。いい傾向です！



あれ、僕はいつも前向きだよ！！仕事以外のことは特にね。



知ってますよ、その前向きさをぜひ仕事に生かして欲しいんですよ...



そだねー。



今年の新語・流行語大賞のフレーズを使ってごまかしてもダメですよ。



じゃあ、僕はこれから“もぐもぐタイム”に行ってくるので。またね！



大賞に選ばれなかったフレーズまで使って逃げるとは。そういう感度の高いアンテナを仕事に振り向けてくださってお願いしているだけなのに...

Airheadsスクールへの申込みはこちら

https://f-vr.jp/hpe_aruba/enq/mail_reg/airheads_ho/seminar_new_form.cgi

===== 【おしらせ】 =====

Airheadsアカデミーシーズン2の動画を公開しました！

下記URLよりご覧いただけます。

<https://www.it-ex.com/distribution/securitynetworksolution/arubabiz/airheads-japan/>

=====

バックナンバー

▼ Vol.1~49

▼ Vol.50~70

バックナンバーは、下記サイトにて公開しております。

<https://www.hpe.com/jp/ja/networking/mailmagazine.html>

※最新版が掲載されていない場合もありますが、随時掲載して参りますので後日ご確認ください。